

閉会中の調査報告

産業経済常任委員会

開催日：平成 27 年 7 月 21 日（火） 午前 9 時から午後 2 時

出席者：赤祖父委員長、立入副委員長、矢野委員、
山本委員、鵜飼委員及び望月議長

説明員：建設経済部長、建設経済部管理監、土木建設課長、
土木建設課参事、市民環境部長、生活環境課長



所管事務調査

1、県要望に対する執行部との課題協議について

市が県に対して平成 27 年度に要望する道路・河川・砂防の重点項目について説明を受けました。あらかじめ市の要望の方向性を聞きながら意見交換を行い、それらをもとに、委員会として 7 月 27 日に甲賀土木事務所と意見交換を行うことにしました。

質問項目

『道路』

- 道路改修はなぜ一斉に行われないのか
- 新中郡橋の道路新設の考え方について
- 長寿寺本堂線、石部停車場線、石部草津線の石部中央地先の交差点拡幅と右折レーンについて
- 長寿寺本堂線、石部東地先の右折レーンの設置について
- 竜王石部線、イワタニランド地先の歩道拡幅について

『河川』

- 由良谷川の未整備区間工事が遅れているが、今後のタイムスケジュールについて
- 落合川、大沙川、高田砂川の平地化の考え方について
- 一級河川の浚渫基準について
- 平成 26 年度の県の回答について
- 思川、落合川、宮川の浚渫について
- 大山川の余水吐改修、伐木の今後の考え方について

『砂防』

- 風呂山谷の工事について
- 榎川の今後の事業内容について

2、事務事業評価について執行部との勉強会

①石部駅周辺整備事業

北側駅前広場計画と南側駅前広場計画について資料をもとに説明を受けました。市と石部駅周辺地域マネジメント協議会、石部地域マネジメントセンター（石部RMC）との関係について質疑を行い、市は、今後も諮問機関として石部駅周辺地域マネジメント協議会と連携して事業を進めていく。石部RMCは任意の団体であるとの説明に対し、委員からは、意見集約が煩雑になり、そのために事業が遅れることのないようにと意見が出ました。

ほかにも、今後の交付金申請の考え方については、社会資本整備総合交付金と都市再生整備計画事業支援交付金を並行して国に要望する準備をしていきたい。スケジュールについては、基本設計の準備をし、事業認定を約2年間の計画で実行していきたい。三雲駅の工事が遅れても石部駅は並行して事業に必要な計画や土地の買収問題から取り組んでいくとのことでした。

②甲西駅周辺整備事業

観光案内看板の設置を検討していくとの説明を受けました。

委員から駐輪場の有料化、隙間広告、PR広告の充実についての意見があり、それに対しては、今後関係部署と協議するなど検討していくとのことでした。また、駅を中心としたまちづくりについても意見が出ました。

③三雲駅周辺整備事業

平成26～29年度に、駅舎改築・自由通路整備の予定であるが現在遅れている。国に申請した補助金については事業費の36%にあたる金額が内示されたと説明を受けました。質疑では、南側の土地利用できる用地が減ってきている。東側の山の利用はできないのか。計画は遅れていないのか。また、人が集まるようなマンション建設の考えはできないか。土地を安く提供していくことも必要ではないか。住民の意見を聞く機会も設けると同時に、決定するときも、事前に住民説明をするようにと意見が出ました。

以上をもとに、事業評価を8月7日に行います。

3、その他

湖南省笹ヶ谷霊園条例施行規則の一部改正について

笹ヶ谷霊園は、全944区画のうち未使用区画が242区画あります。未使用区画の返還をうながすため、墓地使用許可後10年を経過しても永代使用料の1割を還付料として支払うことに改める規則改正です。未使用区画の返還状況により新規募集を行うとのことでした。

以上、報告いたします。